

ハーディーホール ギター・コンサート



Portrait of a historical figure, likely a founder or significant figure of Doshisha University.



150th Doshisha Anniversary
Hardy Hall Guitar Concert
13:00 – 14:00 November 30, 2025



シヨン・ハーネス



創立者新島襄のアメリカの恩人アルフィーアス・ハーディー夫妻の6代目子孫。1966年マサチューセッツ州生まれ。バークレーの音楽大学で音楽の基礎を学び、1994年ニューヨークへ拠点を移す。ジャズ、クラシック、ロック、日本の楽曲まで、ジャンルを超えた演奏を可能にする驚異的なフィンガーピッカーとして知られる。ウインダムヒル

のレコーディングギタリストとしても活躍した。MAC アワード、Bistro アワード、Broadway World.com アワードなどの賞を受賞されている。

ジャニス・シーゲル、Monday満ちるなど、著名アーティストとの共演歴も多数。エレクトリックギターで参加するDaniel Glass Trio を始め、多岐にわたるバンドやレコーディングに参加。ソロ活動に加え、セッションプレイヤーとしても第一線で活躍中。

親日家としても知られ、2000年には小椋佳のアルバム「Debut」のNY録音に参加。2002年にはブロードウェイミュージカル「スウィング！」日本公演で初来日。2004年には、りんけんバンドの照屋林賢との出会いをきっかけに、ソロギターアルバム「URAKAJI」をリリース。来日の際は、日本のミュージシャンとの交流を心から楽しみにされています。

ショーン・ハークネス

前半曲名

Georgia On My Mind

このグレート・アメリカン・ソングブックの名曲は、ショーン
のレパートリーに何十年と入っております。1930年に
ホーギー・カーマイケルによって作曲され、レイ・チャー
ルズの録音は1960年に全米チャート1位を獲得しました。

Original Composition

ショーン・ハークネス作曲のオリジナル曲の一つを演
奏します。

後半曲名

Silent Night/Christmas Time

ショーンは子供の頃から、フランツ・グルーバーの「きよし
この夜」をクリスマスのメロディーとして愛してきました。
賛美歌のような響きを持つこの曲に、ショーンはクリスマ
スの精神への愛を表現するため、一つ一つの音に新鮮
な和音のハーモニーを添えました。この曲は、ショーン
が子供の頃から大好きだったテレビ番組、1965年の名
作アニメ『チャーリー・ブラウンのクリスマス』のためにピ
アニストのヴィンス・ガラルディが作曲した「クリスマス・タ
イム・イズ・ヒア」へと続きます。

My Favorite Things

ショーンによる「マイ・フェイバリット・シングス」のアレンジ
は、1980年代にラリー・コリエルのアレンジを聴いて以来、
進化を続け、自身の代表作へと昇華させてきました。

同志社ギタークラブ

同志社ギタークラブでは、クラシックギターとフラメンコギターを用いて演奏しています。5月の立教大学とのジョイントコンサート、11月の定期演奏会を中心に活動しており、アンサンブルと全部員による合奏を披露しています。初心者から経験者まで幅広く在籍しており、一丸となってギターの上達とより良い演奏を目指して活動しています。本日はアンサンブル2曲とカレッジソングの合奏で、コンサートに参加させていただきます。

美しく青きドナウ

福岡園弓（法学部3回生）
羅門怜奈（文化情報学部3回生）
岩塚美奈子（心理学部2回生）
樋笠巧実（法学部1回生）
川原桜子（経済学部1回生）

オーストリアの第2の国歌としても知られる
Johann Strauss IIの優雅なワルツです。
クラシックギターの音色で紡がれるドナウ川の美しき
景色をどうぞお楽しみください。

アドリア海の青い空

高橋結太（理工学部3回生）
織田真衣（商学部3回生）
星田凜（同志社女子大学学芸学部2回生）
国本真依（法学部1回生）

ゆったりとしたメロディーと
クラシックギターの相性がとても良い劇中歌です。
様々に織りなす旋律を
心行くまでお楽しみください。

Doshisha College Song の説明

児玉実英

同志社女子大学名誉教授・元学長



ショーン・ハークネス氏と同志社ギタークラブの皆さんが、同志社カレッジソングを演奏するにあたり、この曲について少し説明させていただきます。



1908年に書かれた同志社カレッジソングの英語の歌詞は、実に古風で典雅に美しく洗練された詩であり、同志社の目的と理念の大切さを物語っており、同志社の精神的支柱となっています。

同志社カレッジソングのメロディーはドイツの作曲家カール・ヴィルヘルムが詩 "Die Wacht am Rhein" のため1840年に作曲したものでした。ご存知の通り、生き生きと活気に満ちています。イエール大学の校歌 "Bright College Years" (1881年)のメロディーにもなっています。

同志社カレッジソングの詩の作者はウィリアム・メレル・ヴォーリスです。彼は今から120年前の1905年に滋賀県近江八幡市の八幡商業学校の英語教師として来日された宣教師でした。彼は基督教の布教に尽力しましたが、同時に「アマチュア詩人」として“首席(summa cum laude)”級の詩人でもありました。ヴォーリスは日本に帰化して一柳米来留(ひとつやなぎめれる)と名のり、宣教活動と並行して、近江兄弟社、病院、学校等を設立し、洋風建築家として多くの教会や校舎を設計した事でも有名です。同志社の啓明館とアーモスト館のほか3つの建物が彼の設計になります。

近江八幡市名誉市民、同志社社友であり、今回のコンサートを後援する同志社日米文化財団の設立当初から理事を務めました。

Doshisha Collage Song

作曲：Carl Wilhelm 編曲：Ami Shimizu

- 1st 吉川知里 (法3) 高橋結太 (理工3) 太田和佳奈 (商2)
星田凜 (同女学芸2) 高田葵 (法1) 夏目ひなの (商1)
樋笠巧実 (法1) 川原桜子 (経済1)
- 2nd 真弓晏寿 (法3) 山田果歩 (心理3) 白遠馨 (文2)
金森さくら (生命2) 三竿響 (経済1) 岸田奈保 (心理1)
下村颯 (文1) 浅野みのり (社会1) 草野溪悟 (社会1)
- 3rd 小野春稀 (法3) 福岡園弓 (法3) 深谷桃圭 (理工2)
近藤智史 (文2) 松隈周平 (社会2) 亀谷真心 (文1)
櫻井言葉 (社会1) 国本真依 (法1) 松田みなみ (文1)
- 4th 織田真衣 (商3) 羅門怜奈 (文情3) 吉井風花 (文2)
柳銀一 (理工2) 岩塚美奈子 (心理2)
井上就太 (心理2) 中村俊太 (経済1)
- Bass 山口冬吾 (生命3) 梶原千聖 (心理2)
- 指揮 清水亜美 (同女学芸3)

Doshisha College Songは、同志社の建学の精神を象徴する歌として、
長年にわたり歌い継がれてきました。

力強い旋律には、同志社の精神が息づいています。

今回は、ショーン・ハークネス氏とギタークラブ部員が共に演奏し、
世代を超えて受け継がれるその想いを音にのせてお届けいたします。
歌詞に込められた理想と情熱を感じながら、同志社の歴史に思いを
馳せるひとときになれば幸いです。

主催 学校法人同志社
後援 同志社社史資料センター第1部門研究(新島研究)
同志社生活協同組合
一般財団法人同志社日米文化財団*
協力 同志社ギタークラブ

(*)一般財団法人同志社日米文化財団の前身同志社
大学日米文化財団は牧野虎次同志社総長により発議さ
れ初代専務理事に湯浅八郎先生として1946年に日米
両国間の理解と親善に寄与することを目的に設置され
た財団で、同志社創立150周年記念事業「新島襄の足
跡を辿るアメリカツアー」に参加する同志社内4中学校・
高等学校の生徒さん達の旅費の補助を行った。